湖南高校だより

探究・継続の成果

今年もコミュニティスクールの取り組みが始まりました。昨年の反省や学校運営協議会の提言を踏まえ、今年は地域内外との連携を昨年以上に深めていきます。生徒の探究活動では校内の発表にとどまらず、地域外への発信を強化していきます。また、部活動においても湖南高校生の多くの活躍がありました。ぜひ生徒の成長に注目して頂ければと思います。

地域力ダイ探究

入学から数ヶ月が経ち、学校生活にも少し慣れてきた一年生。四月の「福良散策」や五月の「ぐるっと湖南」で町内のお店や旧所名跡を見てまわることで、自分たちが通う湖南町を肌で感じることができました。しかし、地域について知る近道は、何よりも地域の人と直接関わることです。一年生は五月・六月を通し、二年生の先輩たちにインタビューを行うことで、質問の仕方、言葉遣い、これまでの探究活動の様子や注意点など、様々なことを学びました。そして、七月七日（木）に地域の皆様へインタビューを行い、湖南町をより深く知ることができました。皆様ありがとうございました。

先輩へのインタビュー。緊張するかと思いきや、終始なごやかな雰囲気でした。

地域ミライ探究

A班　商品開発

地域課題への理解を深め、探究活動の主力となった二年生。今年度もA班（つくる班）とB班（つなぐ班）に分かれて活動していきます。今年のA班の課題は「観光に来た人が湖南で気軽に食べられる商品の開発」です。これまで、湖南町らしさが伝わる商品にするためのアイディアを出しつつ、調理実習を重ねてきました。結果、「湖南チキサンド（コナチキサンド）」と「ソバブ」という形に辿り着きました。「湖南チキサンド」は小麦粉にそばの実とそば粉を混ぜ込んだころもで揚げた鶏のサンドイッチで、「ソバブ」はそば粉を練り込んだ生地で包んだケバブ（トルコ料理）です。ちなみに「ソバブ」は、湖南高校の「そば部」とも掛けているアイディア料理です。どちらも料理としては完成に近づきましたが、生徒はまだまだ納得していません。今後も研究は続いていきます。

どんなアイディアもまずはチャレンジ！
失敗を恐れず調理をしていきました。

B班　CMづくり

昨年度B班は「湖南町の情報発信拠点を作る」という目標を達成しました。今年のB班の目標は「町の魅力発信」です。世界に湖南の魅力を伝える足がかりとして、KFBと東邦銀行共催の「二〇二二年ふくしまの元気！応援CM大賞」に参加します。今は、郡山市の代表権獲得のために七月のプレゼンテーションにむけて準備をすすめています。湖南町の魅力が詰まったCMにするため、B班の生徒は湖南のPRポイントについて話し合い、取材を重ねつつ、動画を撮影しました。モデル、撮影、交通整理などの役割にわかれて互いに協力することで、CMは完成に近づいています。撮影をしていく中で、新たな町の魅力に気づくことができました。湖南の魅力を地域外へと発信することで、新しい何かが始まるかもしれません。

湖南の魅力を伝えるCMとは？
真剣な話し合いが繰り返されました。

発　行
福島県立
湖南高等学校
校長酒井祐治

校　訓

誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

部活動

ボート部

ボート部が、五月二八日（土）から二日間行われた福島県高等学校体育大会に出場しました。女子シングルスカルでは二年生の藤原早稀さん（郡山一中出身）が優勝を果たし、インターハイ全国大会の出場権を獲得しました。早稀さんは「昨年の新人戦で四位と悔しい思いをし、悔しさをバネに負けじと練習してきた成果が出せて嬉しく思います」とこれまでの練習を振り返りました。

インターハイ県大会での一枚。
１年生が加わった新制ボート部です。

また、六月十一日（土）から行われた福島県総合体育大会では、三年生の諸橋俊輔さん（郡山六中出身）が男子シングルスカルにおいて優勝を果たしました。同じく優勝した早稀さん（前掲）とともに、二人は七月十六日（土）から行われる東北総合体育大会に出場します。俊輔さんは「東北総体は私にとって最後の大会です。三年間の想いをぶつけ、目標である国体出場を果たしたいと思います」と大会にかける想いを語ってくれました。大会に臨む二名に温かいエールをお願いします。

福島県総合体育大会では、男女シングルスカルでダブル優勝を果たしました！！

ソフトテニス部

ソフトテニス部が、五月十三日（金）から三日間行われた福島県高等学校体育大会地区予選に出場しました。個人戦・団体戦ともに悔しい結果ではありましたが、生徒一人ひとりが最後まで全力でプレーしました。この大会で引退となる三年生の宗形春玖さん（大槻中出身）は「努力を継続しなければ上達はありません。悔しい気持ちを力に変え、挑戦を続けて下さい」と後輩を叱咤激励しました。

部長として、たった一人で後輩たちを
引っ張ってくれました！ありがとう！！

また、六月二十一日（火）、二十五日（土）の二日間行われた福島県総合体育大会地区予選には、新体制での出場となりました。新部長となった二年生の菊地秋杜さん（湖南小中出身）は「三年生が引退し、新メンバーでの挑戦に不安もありましたが、団体戦での初白星をあげることができました。この経験を糧にし、次の大会に向けて頑張ります」と大会を振り返りました。

新体制となる湖南高校ソフトテニス部。
次の大会に向けて、頑張ります！！

初夏の遠足

七月一日（金）、コロナのため昨年実施できなかった春の遠足に行ってきました。当初は五月の予定でしたが、天候の影響で延期となり、季節は梅雨も明けた初夏の遠足となってしまいました。当日は天気に恵まれ、生徒は期末テスト終了後の開放感の中、元気一杯に歩いていました。今年は暑さ対策で目的地を変更し、三年生は秋山浜、一・二年生は青松浜で湖岸のごみ拾いを行いました。お待ちかねのお昼には、班で持ち寄った食材で、炒飯や焼きそば、お好み焼きなど、様々なメニューを作りました。慣れない火起こしに一・二年生は苦戦していましたが、三年生はてきぱきと調理を進めており、様々な面で成長が感じられました。

気持ちのいい風が吹く遠足日和。
学校に着くまで元気いっぱいでした。

出張そば部

六月二十五日(土)、湖南高校生が「日本橋ふくしま館MIDETTE」で湖南の魅力を発信してきました。当日は、本校そば部員とASIAGAP認証農場の桑名秀一郎様、そして酒井校長による「蕎麦打ち実演・販売」と、湖南高校が開発した湖南産蕎麦粉１００％使用パウンドケーキ「湖南THE1st」、mogu・mogu「湖南産米粉１００％使用クッキー」、里山再生家・三宅農場「生搾り菜種油」の販売が行われました。来場された方からも「湖南の魅力が伝わった」という多くの声があり、実り多き試みとなりました。湖南高校は、これからもコミュニティ・スクールの活動をとおして「湖南の魅力」を発信していきたいと思います。

ついに湖南高校が東京進出！！
ＭＩＤＥＴＴＥ前で記念撮影しました。

編集後記

新たな湖南の魅力を発信する試みとして「米粉大作戦」がスタートしました。六月四日（土）、ゲストに城北埼玉高校の皆さんをお迎えし、本校の生徒と教職員との計約五十名で田植えを行いました。慣れない田んぼに足を取られながらも、笑顔で田植えを楽しんでいました。初めての田植えということで不安もありましたが、全員の思いが通じたのか、今では無事根を張り、すくすくと育っています。秋の収穫が今から待ち遠しい限りです。　猪苗代子

湖南高校と城北埼玉高校での集合写真。
皆さん田植え作業お疲れ様でした！

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。